

令和7年12月8日23時15分頃の青森県東方沖の地震について

地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	12月8日23時15分頃
発生時刻 (地震が発生した時刻)	12月8日23時15分頃
マグニチュード	7.6(速報値) →7.5に修正 [気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2512/09b/nceq01.pdf]
発生場所	青森県東方沖(八戸の東北東80km付近) 深さ約 50km
震度	【最大震度6強】青森県の八戸市(はちのへし)で震度6強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度6弱～1を観測
地震活動の状況 9日00時30分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が3回発生(震度3:1回 震度1:2回)
長周期地震動の観測状況	青森県三八上北で長周期地震動階級3を観測

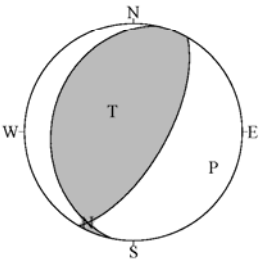
気象庁のwebページより <https://www.jma.go.jp/jma/press/2512/09a/kaisetsu202512090115.pdf>

発震機構解

12082315

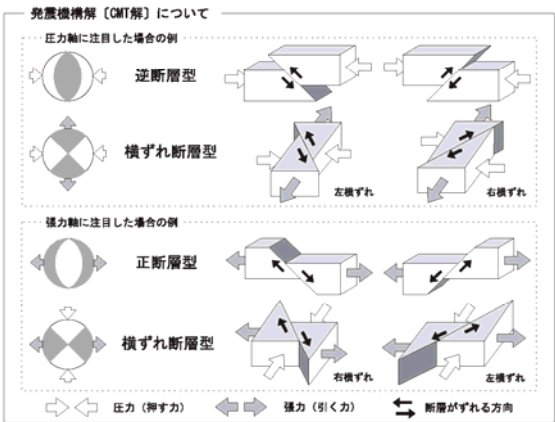
西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT解] Mw=7.4

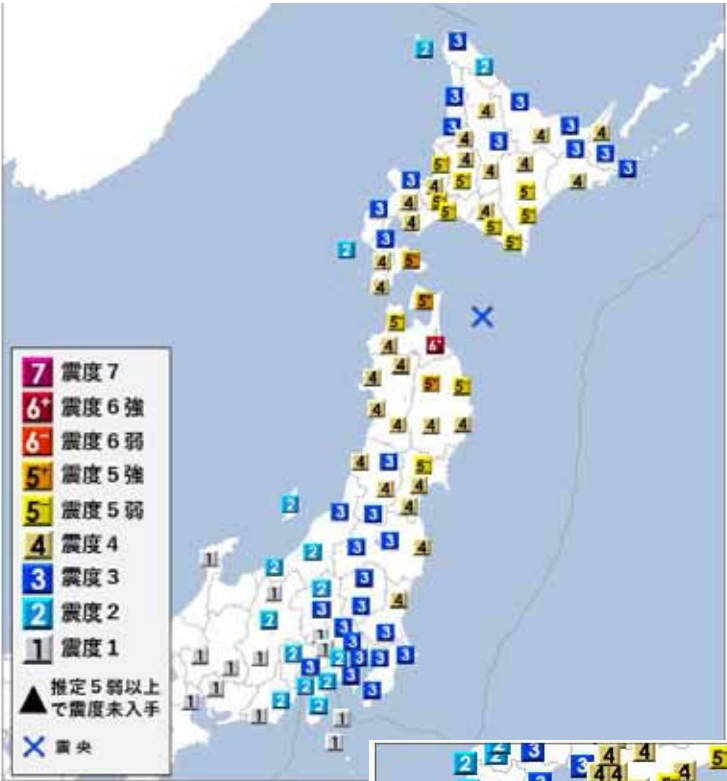


下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

セントロイドの位置
北緯 40度48分
東経 142度18分
深さ 約40km
※セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。



気象庁作成



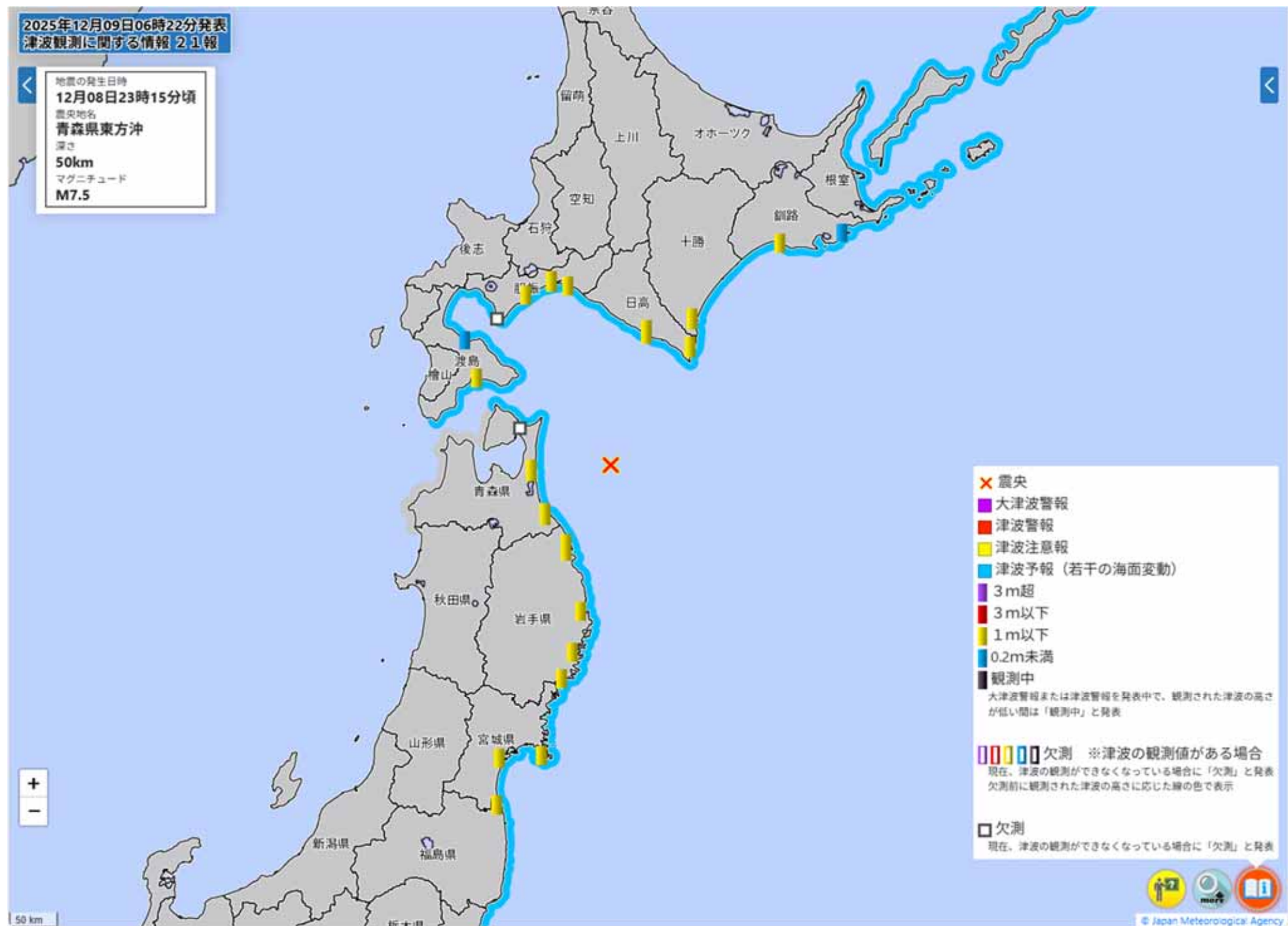
震度分布



気象庁のwebページより
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2512/09a/kaisetsu202512090115.pdf>

12月8日23時26分発表

気象庁のwebページより <https://www.jma.go.jp/jma/press/2512/09b/nceq01.pdf>



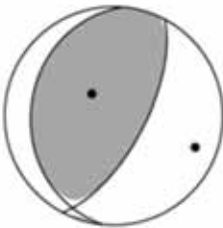
F-net 地震のメカニズム情報【詳細】

気象庁による震源情報

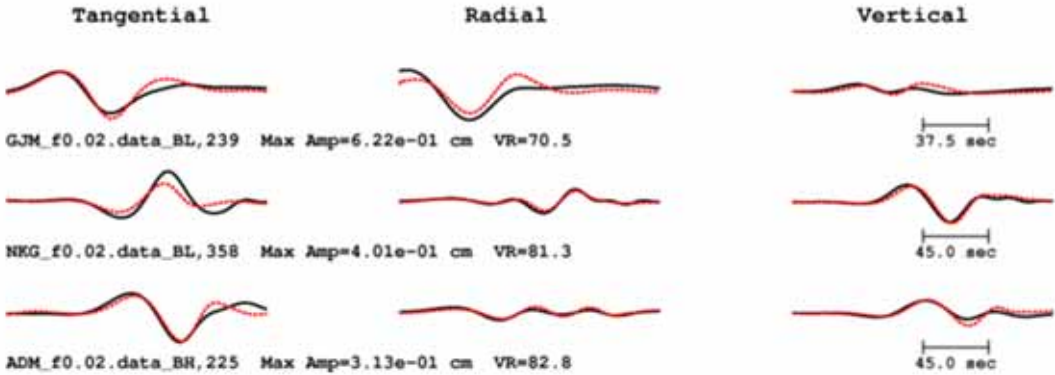
地震発生時刻 (JST)	緯度 (°)	経度 (°)	震央地名	深さ (km)	Mj
2025/12/08,23:15	41.0	142.3	青森県東方沖	50	7.2

手動メカニズム推定結果

緯度 (°)	経度 (°)	深さ (km)	走向 (°)	傾斜 (°)	すべり角 (°)	M ₀ (Nm)	M _w	品質
41.0	142.3	50	185 ; 28	25 ; 67	69 ; 99	1.51e+20	7.4	76.48

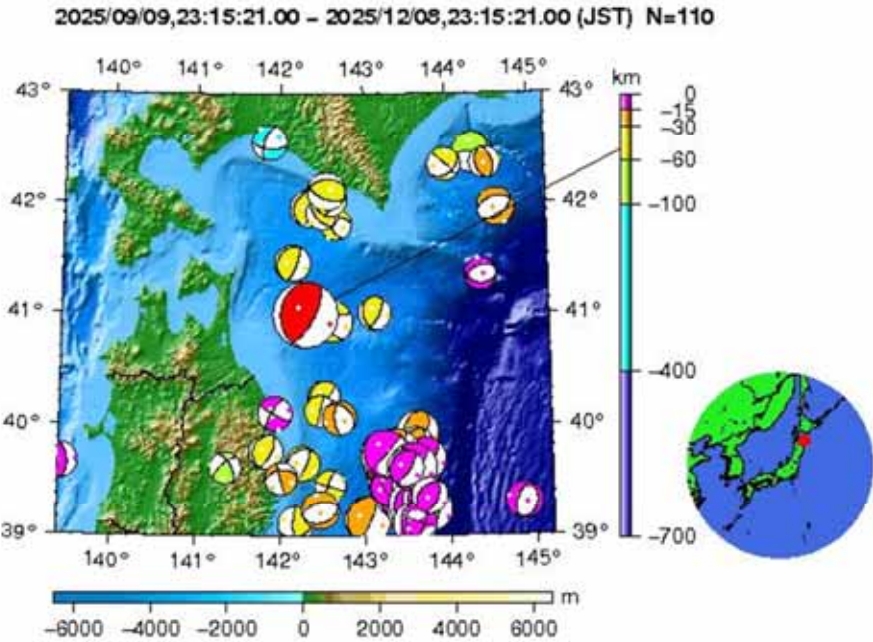


M_w = 7.4
M₀ [Nm] = 1.51e+20
NP1: (185, 25, 69)
NP2: (28, 67, 99)
Var. Red = 76.48
Percent DC = 97
Percent CLVD = 3
Variance = 4.59e-03
RES/Pdc. = 4.75e-05
— Obs.
..... Syn.



周辺の地震活動

詳細版

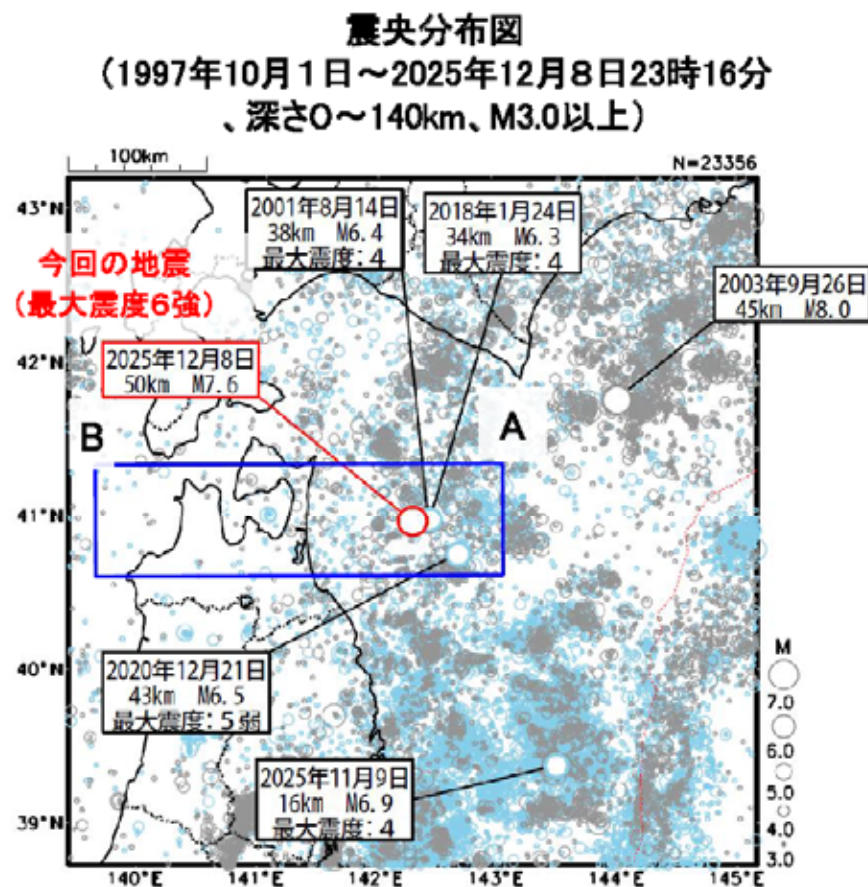


波形データ取得

地震波形

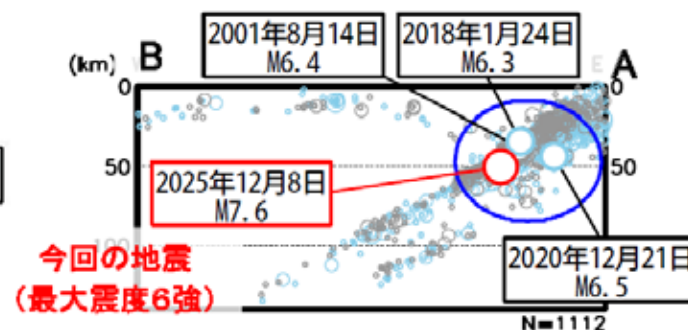
>> 01. HID 日高	波形画像	>> 02. GJM 五城目	波形画像
>> 03. HSS 札幌	波形画像	>> 04. URH 浦幌	波形画像
>> 05. KSR 釧路	波形画像	>> 06. KNP 訓子府	波形画像
>> 07. NKG 中川	波形画像	>> 08. ADM 赤泊	波形画像

令和7年12月8日 青森県東方沖の地震 (発生場所の詳細)



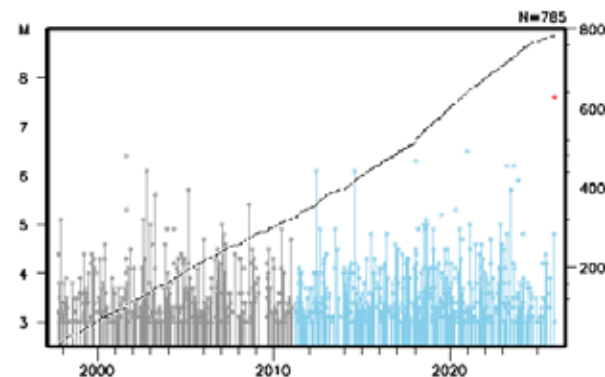
1997年10月1日から2011年2月1日までを灰色
2011年3月1日から2025年12月8日23時14分までの震源を青色
2025年12月8日23時15分以降の震源を赤色
で表示
今回の地震を含む12月8日以降の地震は速報値

左図の四角形領域内のA-B断面図



縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の楕円領域内の地震活動経過
および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。
折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

気象庁作成

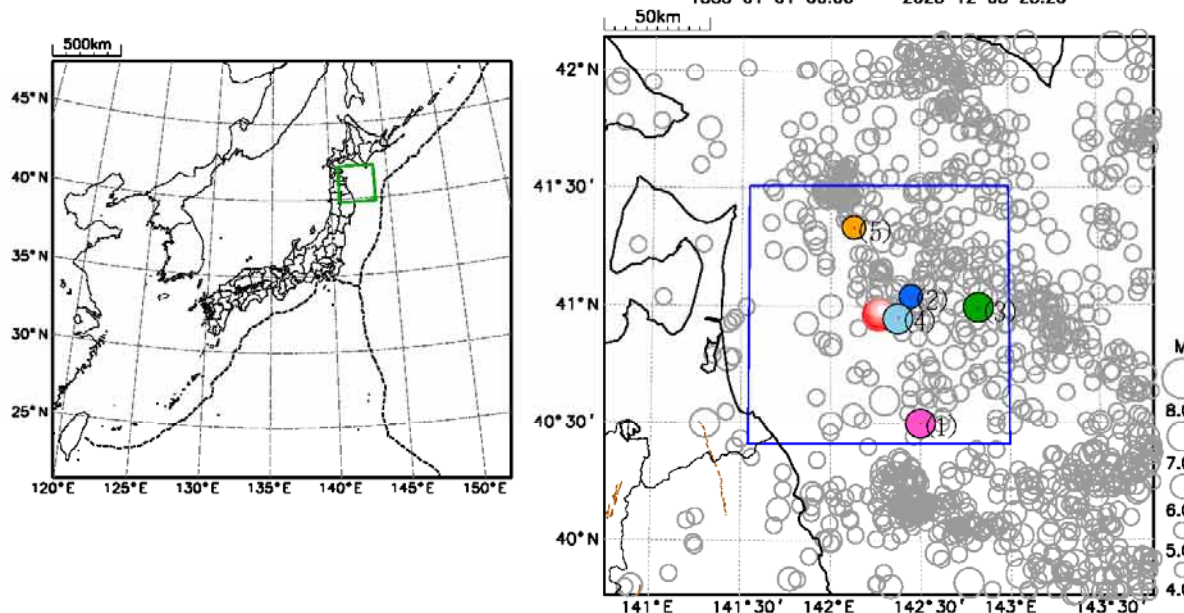
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

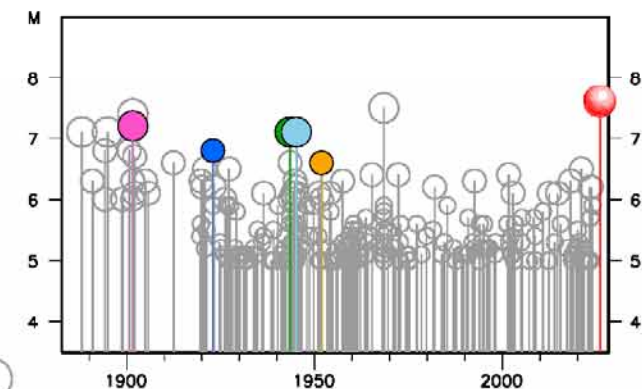
M ≥ 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2025 12 08 23:20



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1901年8月9日 M:7.2 青森県東方沖

(2) 1922年12月9日 M:6.8 青森県東方沖

(3) 1943年6月13日 M:7.1 青森県東方沖

(4) 1945年2月10日 M:7.1 青森県東方沖

(5) 1951年10月18日 M:6.6 青森県東方沖

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
- ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982, 1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。
- ・名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
- ・地震の名称の後ろの□は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。
- ・名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、□内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
- ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
- ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（※）が異なる場合がある。
- ※検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

気象庁作成



報道発表資料

令和7年12月9日02時00分
内閣府（防災担当）
気象庁地震火山部

北海道・三陸沖後発地震注意情報について

本日（9日）02時00分に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。日頃からの地震への備えの再確認等を実施してください。

令和7年12月8日23時15分頃に発生した青森県東方沖の地震について、震源位置や規模を精査した結果、国の基本計画等に定められている、後発地震への注意を促す情報を発表する基準を満たしていることから、気象庁は、本日02時00分に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。情報の内容や防災対応について、別添の通りお知らせします。

北海道・三陸沖後発地震注意情報の概要

昨日（8日）23時15分頃に青森県東方沖で地震発生
モーメントマグニチュード※：7.4

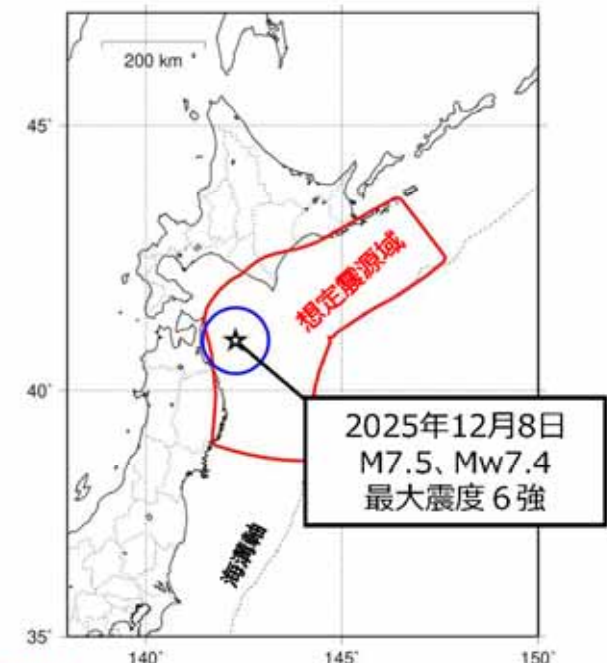
今回の地震の発生により、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖にかけての巨大地震の想定震源域では、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると考えられます。

今後、もし大規模地震が発生すると、巨大な津波が到達したり、強い揺れとなる可能性があります。

なお、新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、過去の世界的な事例を踏まえるとその確率は百回に1回程度と低く、特定の期間中に大規模地震が必ず発生することをお知らせするものではありません。

※モーメントマグニチュード（Mw）は、震源断層のずれの規模を精査して得られるもので、地震発生直後に地震波の最大振幅から計算し津波警報等や地震情報の発表に用いるマグニチュードとは異なります。北海道・三陸沖後発地震注意情報は、Mw 7.0以上の地震が想定震源域に影響を与える場所で発生した場合に発表されます。

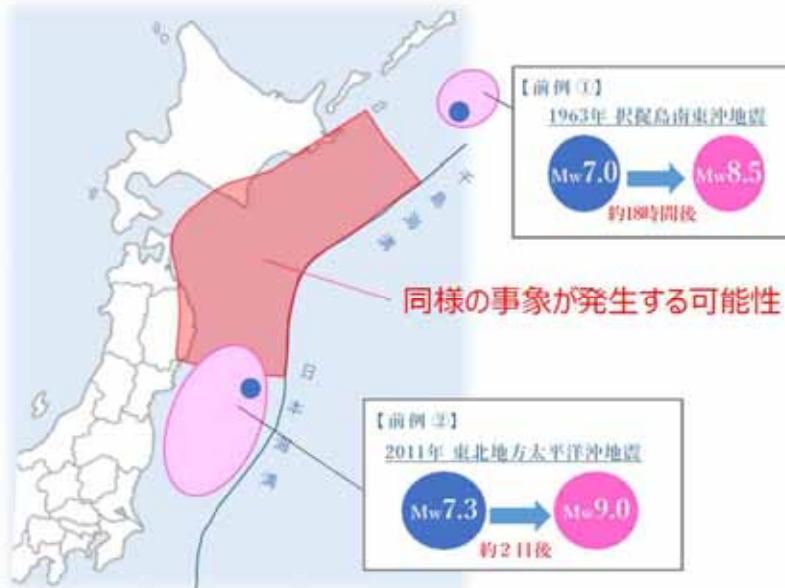
今回の地震と想定震源域の位置関係



- ・赤色領域は、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域。
- ・青色領域は、今回の地震が影響を与える領域。今回の地震の震央を中心として、モーメントマグニチュード（Mw）から経験式（宇津の式： $\log_{10}L=0.5Mw-1.85$ ）を使って求めた断層長L(km)を半径とする円を示す。

地震が続けて発生した事例

日本海溝・千島海溝沿いの事例



- ・2011年に三陸沖においてMw7.3の地震が発生した2日後にMw9.0の巨大地震（東北地方太平洋沖地震）が発生。
- ・1963年に択捉島南東沖においてMw7.0の地震が発生した18時間後にMw8.5の地震が発生。

過去の世界の事例



- ・Mw7.0以上の地震発生後、7日以内にMw 8 クラス以上（Mw7.8以上）の大規模地震が発生するのは、百回に1回程度。

○「北海道・三陸沖後発地震注意情報」では、後発地震が実際に発生する確率は低いものの、巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するために、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることをお知らせします。

○後発地震が発生する可能性は、先に発生した地震が起こった直後ほど高く、時間を経るにつれて低くなっていきますが、ゼロになるわけではありません。

北海道・三陸沖後発地震注意情報に関する留意事項

- この情報は、大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることとお知らせするものであり、特定の期間中に大規模地震が必ず発生するということをお知らせするものではありません。
- Mw 8 クラス以上の大規模地震は、後発地震への注意を促す情報が発表されていない状況で突発的に発生することが多いことに留意し、日頃からの地震への備えを徹底することが最も重要です。
- 最大クラスの津波を伴う巨大地震に備えることが大切ですが、最大クラスの地震より規模はやや小さいが発生確率が高い地震や、直上で強く揺れる比較的浅い場所で発生する地震にも備える必要があります。
- 巨大地震の想定震源域（北海道の根室沖から東北地方の三陸沖）の外側でも、先に発生した地震の周辺では、大規模地震が発生する可能性があるので注意が必要です。
- 後発地震の発生可能性は、先に発生した地震が起こってから時間が経つほど、また、先に発生した地震の震源から遠いところほど低くなります。
- 後発地震の発生可能性は、後発地震の規模が大きいほど低くなり、最大クラスの後発地震が発生する可能性はさらに低くなります。

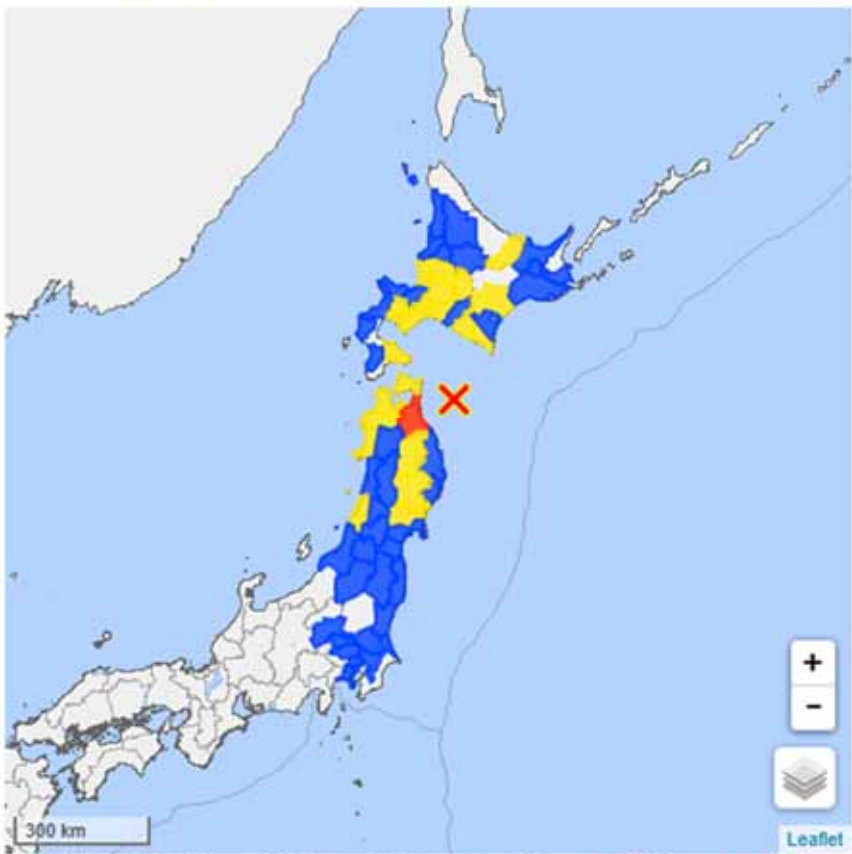
【地震の概要】

地震検知時刻 2025年12月08日 23時15分ころ
震央地名 青森県東方沖
緯度 北緯41.0度
経度 東経142.3度
深さ 深さ 50 km
マグニチュード 7.6

【長周期地震動階級1以上が観測された地域】

長周期地震動階級3	青森県三八上北
長周期地震動階級2	石狩地方北部 石狩地方南部 渡島地方東部 後志地方東部 空知地方中部 空知地方南部 上川地方南部 北見地方 胆振地方西部 胆振地方中東部 日高地方中部 日高地方東部 十勝地方中部 青森県津軽北部 青森県津軽南部 青森県下北 岩手県内陸北部 岩手県内陸南部 宮城県北部 秋田県沿岸北部 山形県庄内
長周期地震動階級1	石狩地方中部 檜山地方 後志地方北部 後志地方西部 空知地方北部 上川地方北部 上川地方中部 留萌地方中北部 留萌地方南部 北海道利尻礼文 網走地方 日高地方西部 十勝地方南部 釧路地方北部 釧路地方中南部 根室地方中部 岩手県沿岸北部 岩手県沿岸南部 宮城県南部 宮城県中部 秋田県沿岸南部 秋田県内陸北部 秋田県内陸南部 山形県最上 山形県村山 山形県置賜 福島県中通り 福島県浜通り 福島県会津 茨城県北部 茨城県南部 群馬県南部 埼玉県北部 埼玉県南部 千葉県北西部 東京都23区 神奈川県東部 新潟県下越

長周期地震動階級1以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: 階級1 階級2 階級3 階級4

観測点別詳細資料

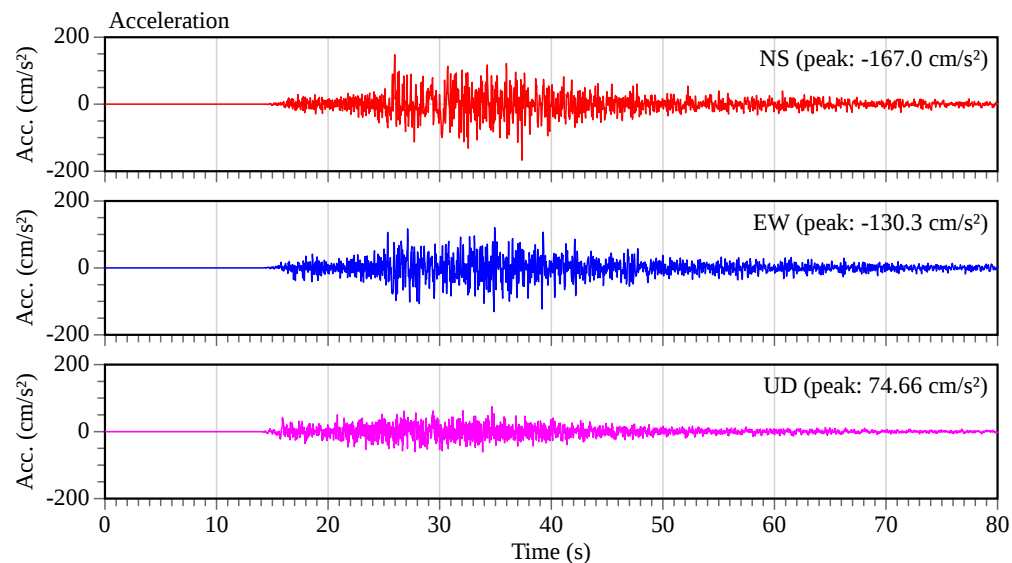
都道府県 長周期地震動階級

都道府県名	地域名	観測点名	震度	長周期地震動階級
青森	青森県三八上北	六ヶ所村尾駈	5弱	階級3
北海道道央	石狩地方北部	石狩市花川	4	階級2
北海道道央	石狩地方南部	千歳市北栄	5弱	階級2
北海道道央	石狩地方南部	新千歳空港	5弱	階級2
北海道道南	渡島地方南部	渡島市野田町	3	階級1

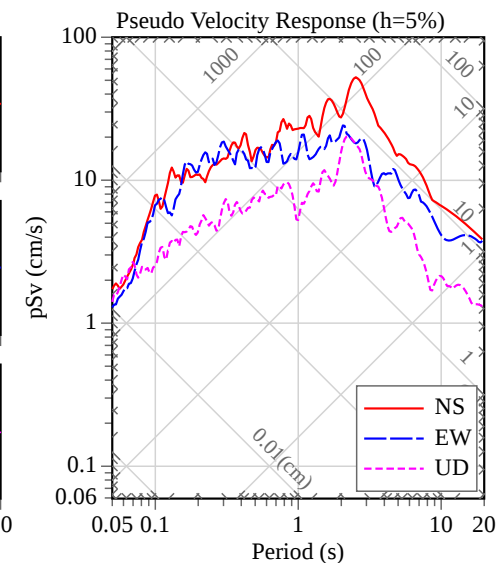
長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないうちで歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	腐仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	腐仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

六ヶ所村尾駁

震度5弱
長周期地震動階級3

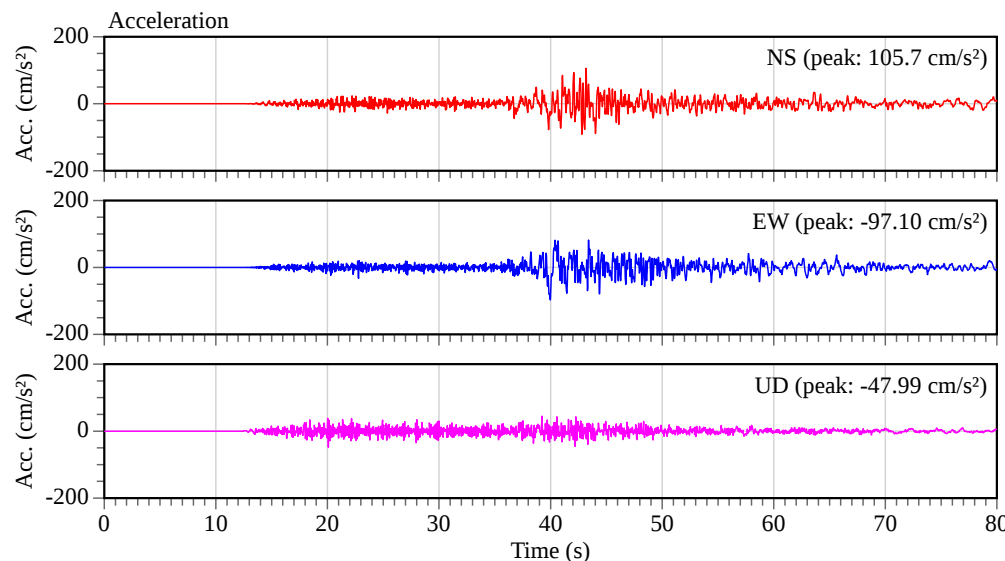


2025/12/08 23:15:10 at : 六ヶ所村尾駁, Intensity: 4.7

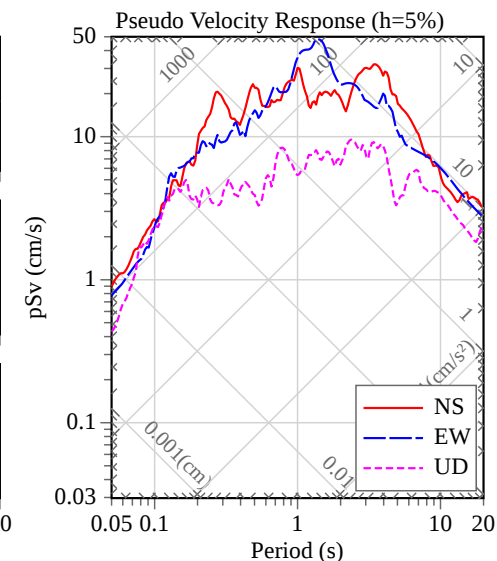


新千歳空港

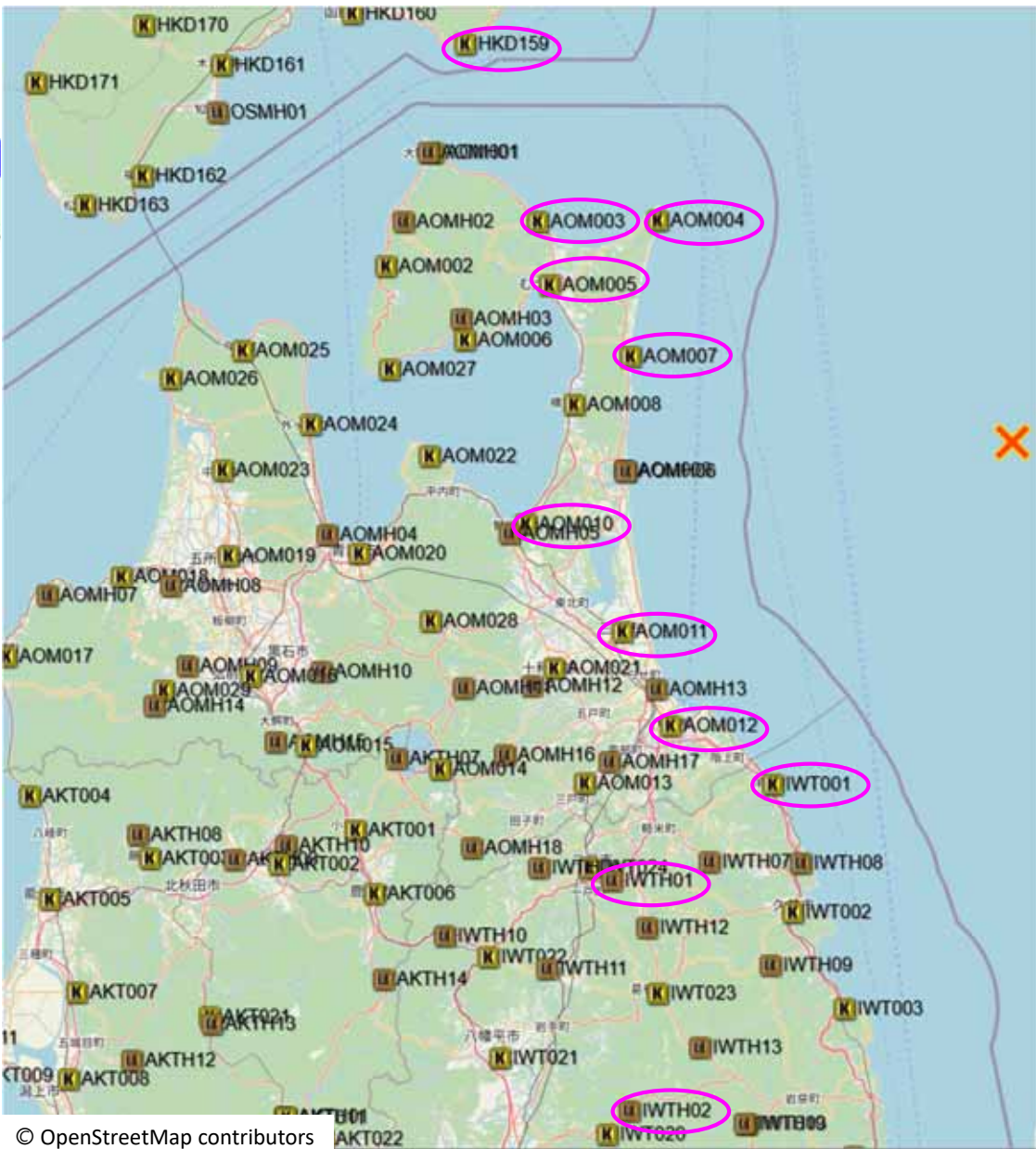
震度5弱
長周期地震動階級2



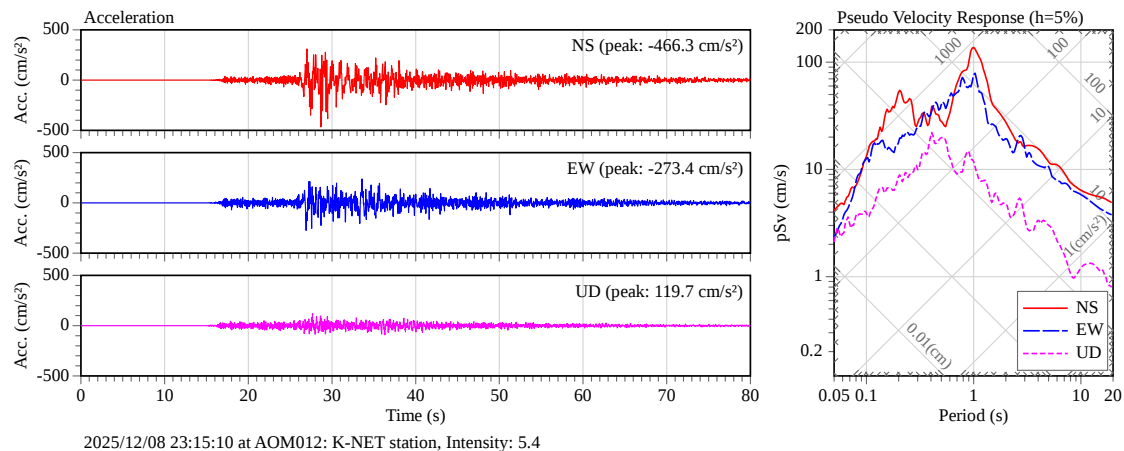
2025/12/08 23:15:30 at : 新千歳空港, Intensity: 4.6



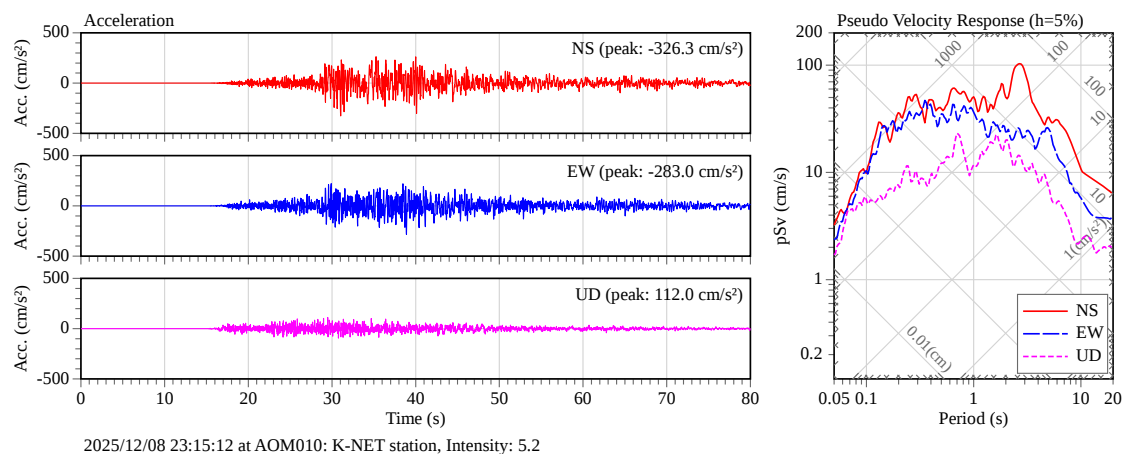
強震記録一覧									
データ 種別	観測点 コード	記録開始時刻	観測点 北緯	観測点 東経	最大加速度▼	計測 震度	震央 距離	観測 点名	
K-NET	AOM012	2025/12/08-23:15:25	40.51N	141.49E	0517.4gal	5.5	0087km	八戸	
-KiK-	IWTH01	2025/12/08-23:15:29	40.24N	141.34E	0496.2gal	5.6	0117km	二戸東	
-KiK-	IWTH02	2025/12/08-23:15:33	39.83N	141.38E	0356.4gal	5.0	0152km	玉山	
K-NET	AOM010	2025/12/08-23:15:27	40.87N	141.14E	0336.0gal	5.2	0098km	野辺地	
K-NET	AOM004	2025/12/08-23:15:25	41.41N	141.45E	0327.1gal	4.5	0085km	尻屋	
K-NET	HKD159	2025/12/08-23:15:31	41.72N	141.00E	0313.9gal	5.0	0134km	戸井	
K-NET	IWT001	2025/12/08-23:15:24	40.41N	141.72E	0307.4gal	4.9	0082km	種市	
K-NET	AOM007	2025/12/08-23:15:24	41.17N	141.38E	0307.0gal	4.6	0079km	南通	
K-NET	AOM003	2025/12/08-23:15:27	41.41N	141.17E	0300.4gal	5.2	0105km	大畑	
K-NET	AOM011	2025/12/08-23:15:25	40.68N	141.37E	0290.5gal	4.9	0086km	三沢	
K-NET	AOM005	2025/12/08-23:15:27	41.29N	141.20E	0289.8gal	5.2	0098km	むつ	
K-NET	AOM008	2025/12/08-23:15:26	41.08N	141.26E	0274.4gal	4.9	0088km	横浜	
-KiK-	AOMH16	2025/12/08-23:15:29	40.46N	141.09E	0247.5gal	4.9	0118km	新郷	
-KiK-	IWTH12	2025/12/08-23:15:29	40.15N	141.42E	0240.1gal	4.8	0120km	九戸	
K-NET	HKD158	2025/12/08-23:15:32	41.83N	141.14E	0210.3gal	4.9	0134km	板戸葦	
K-NET	AOM006	2025/12/08-23:15:28	41.20N	141.00E	0208.7gal	4.9	0112km	川内	
K-NET	IWT021	2025/12/08-23:15:36	39.92N	141.08E	0207.0gal	4.8	0158km	西根	
K-NET	IWT020	2025/12/08-23:15:35	39.78N	141.33E	0201.4gal	4.9	0158km	藪川	
-KiK-	AOMH06	2025/12/08-23:15:24	40.97N	141.37E	0196.2gal	4.7	0078km	六ヶ所	
-KiK-	AOMH13	2025/12/08-23:15:25	40.58N	141.45E	0181.5gal	5.1	0086km	八戸	
K-NET	AOM022	2025/12/08-23:15:30	40.93N	140.92E	0172.3gal	4.4	0116km	東田沢	
-KiK-	AOMH12	2025/12/08-23:15:28	40.58N	141.15E	0169.1gal	4.4	0107km	十和田湖東	
K-NET	HKD184	2025/12/08-23:15:42	42.79N	141.60E	0166.8gal	4.5	0207km	千歳	
K-NET	AOM013	2025/12/08-23:15:29	40.41N	141.28E	0165.7gal	4.5	0108km	南部	
-KiK-	IBUH01	2025/12/08-23:15:43	42.87N	141.82E	0156.4gal	4.4	0212km	追分	
K-NET	HKD126	2025/12/08-23:15:42	42.57N	141.93E	0153.4gal	4.9	0178km	鶴川	
K-NET	AOM009	2025/12/08-23:15:24	40.97N	141.37E	0153.1gal	4.5	0078km	六ヶ所	
-KiK-	IKRH02	2025/12/08-23:15:49	43.22N	141.65E	0152.2gal	4.7	0252km	新篠津	
-KiK-	TKCH08	2025/12/08-23:15:39	42.49N	143.15E	0151.4gal	4.5	0180km	大樹	
K-NET	HKD091	2025/12/08-23:15:45	42.81N	143.66E	0142.5gal	4.8	0230km	浦幌	
K-NET	IWT012	2025/12/08-23:15:42	39.92N	141.14E	0129.0gal	4.5	0211km	北上	



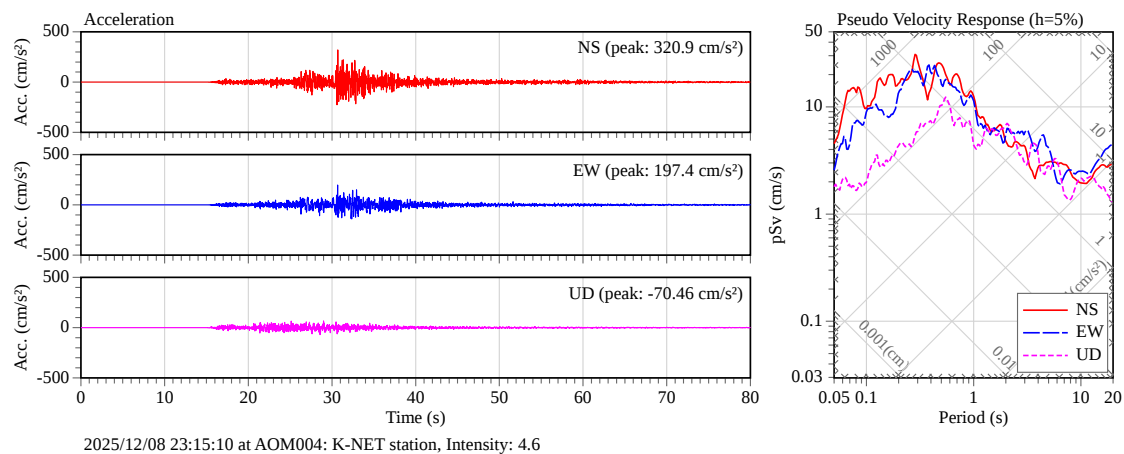
AOM012 八戸(5.5) 震度6弱



AOM010 野辺地(5.2) 震度5強

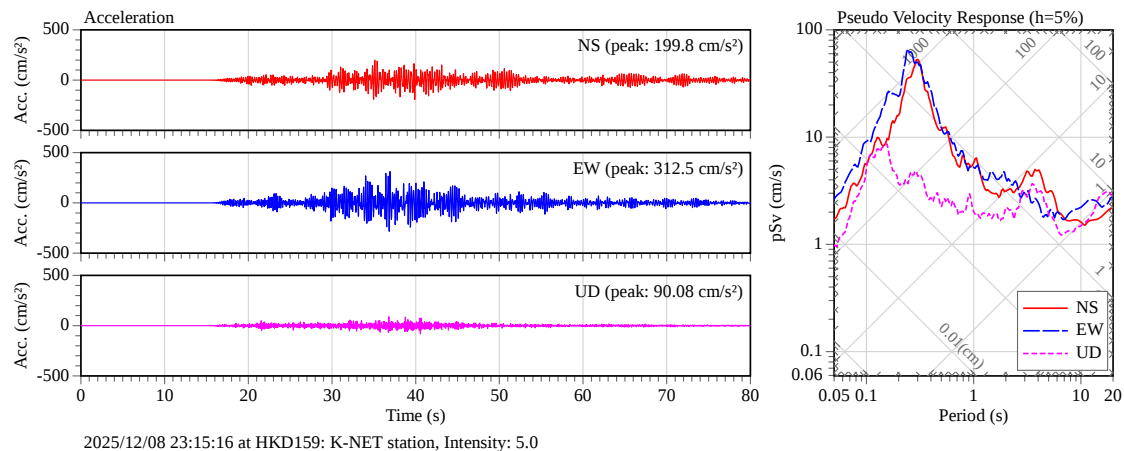


AOM004 尻屋(4.5) 震度5弱

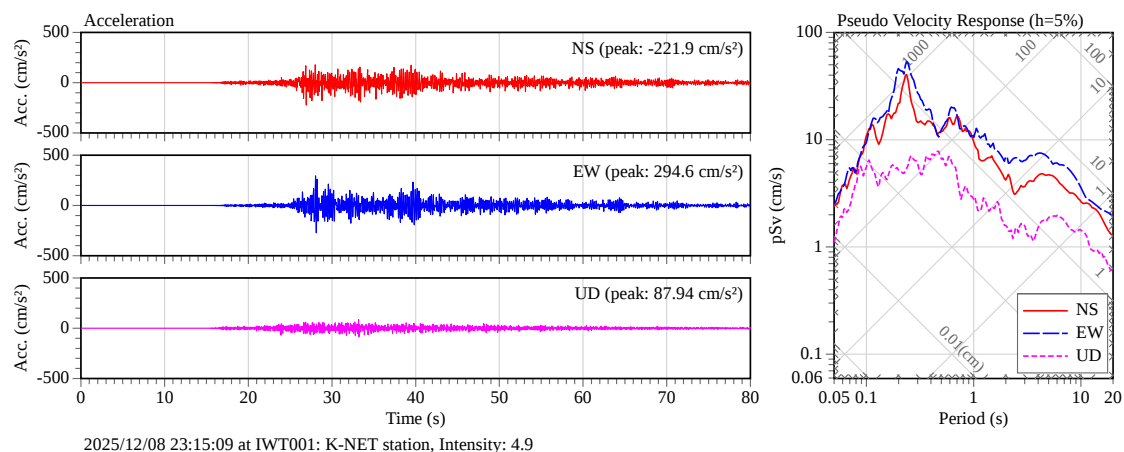


()内数値は計測震度

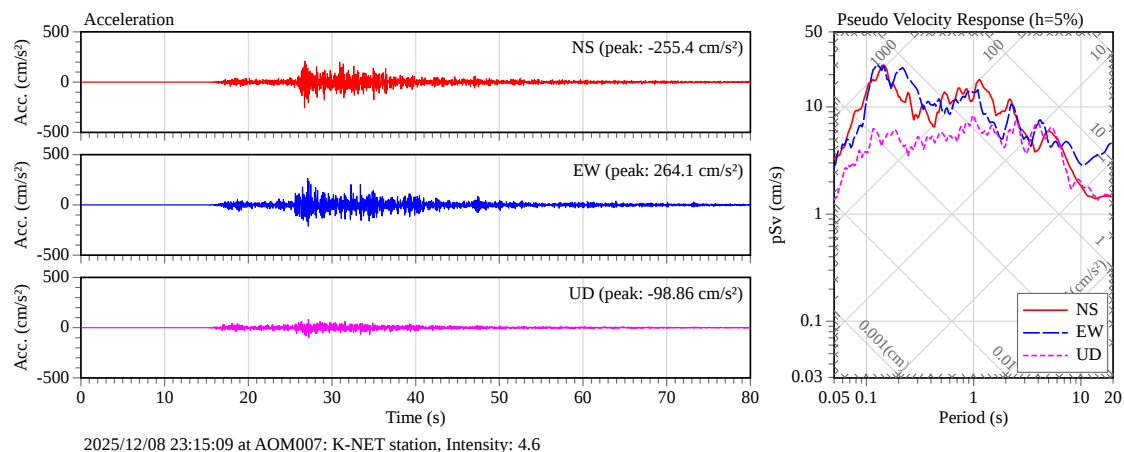
HKD159 戸井(5.0) 震度5強



IWT001 種子(4.9) 震度5弱

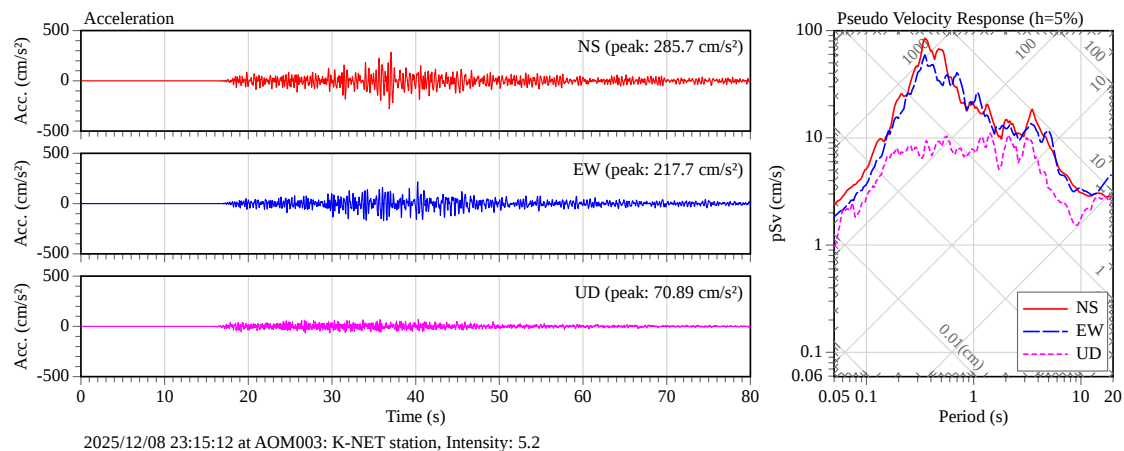


AOM007 南通(4.6) 震度5弱

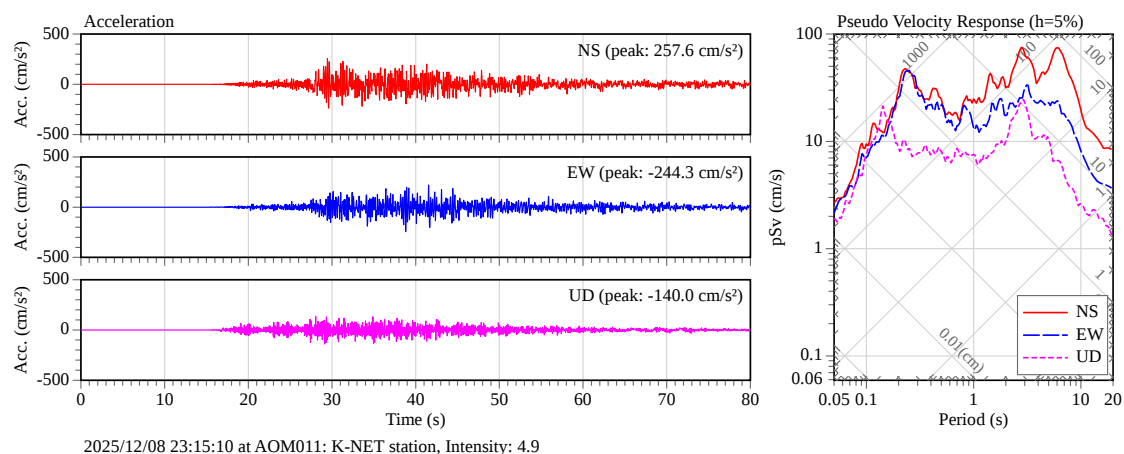


()内数値は計測震度

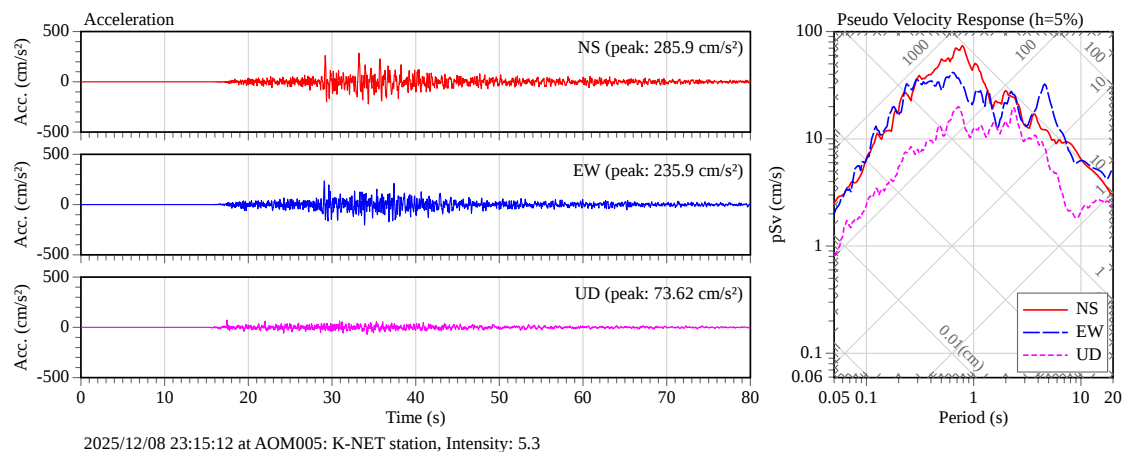
AOM003 大畑(5.2) 震度5強



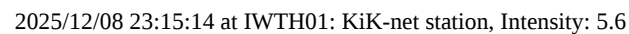
AOM011 三沢(4.9) 震度5弱



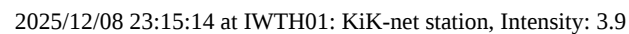
AOM005 むつ(5.2) 震度5強



()内数値は計測震度



地中
IWTH01 二戸東(5.6)
震度6弱

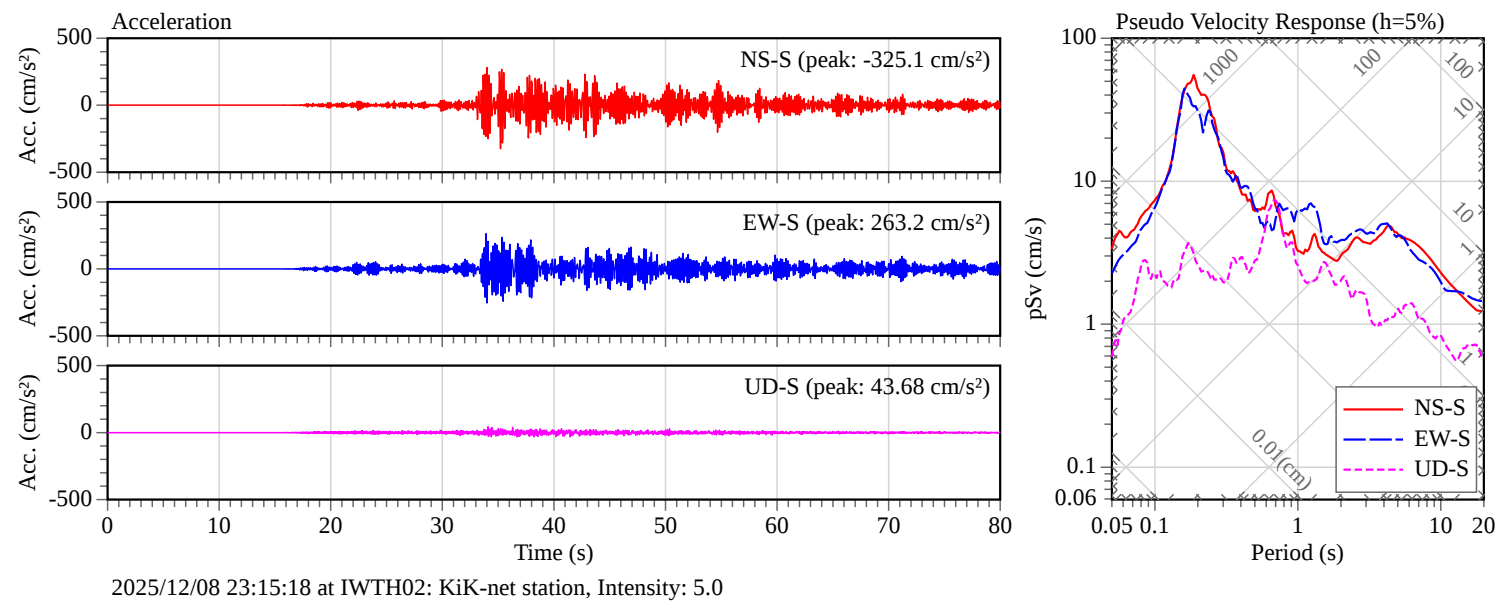


地中

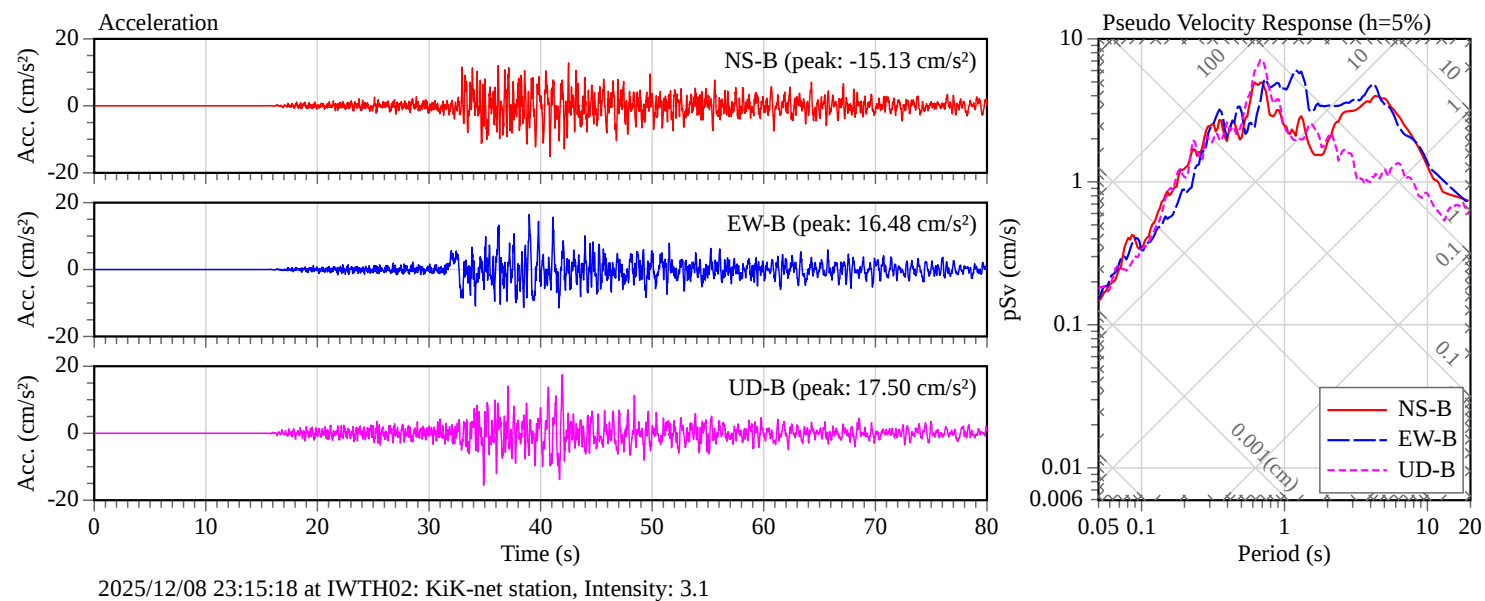
IWTH01 二戸東(5.6)

震度6弱

()内数値は地表の計測震度



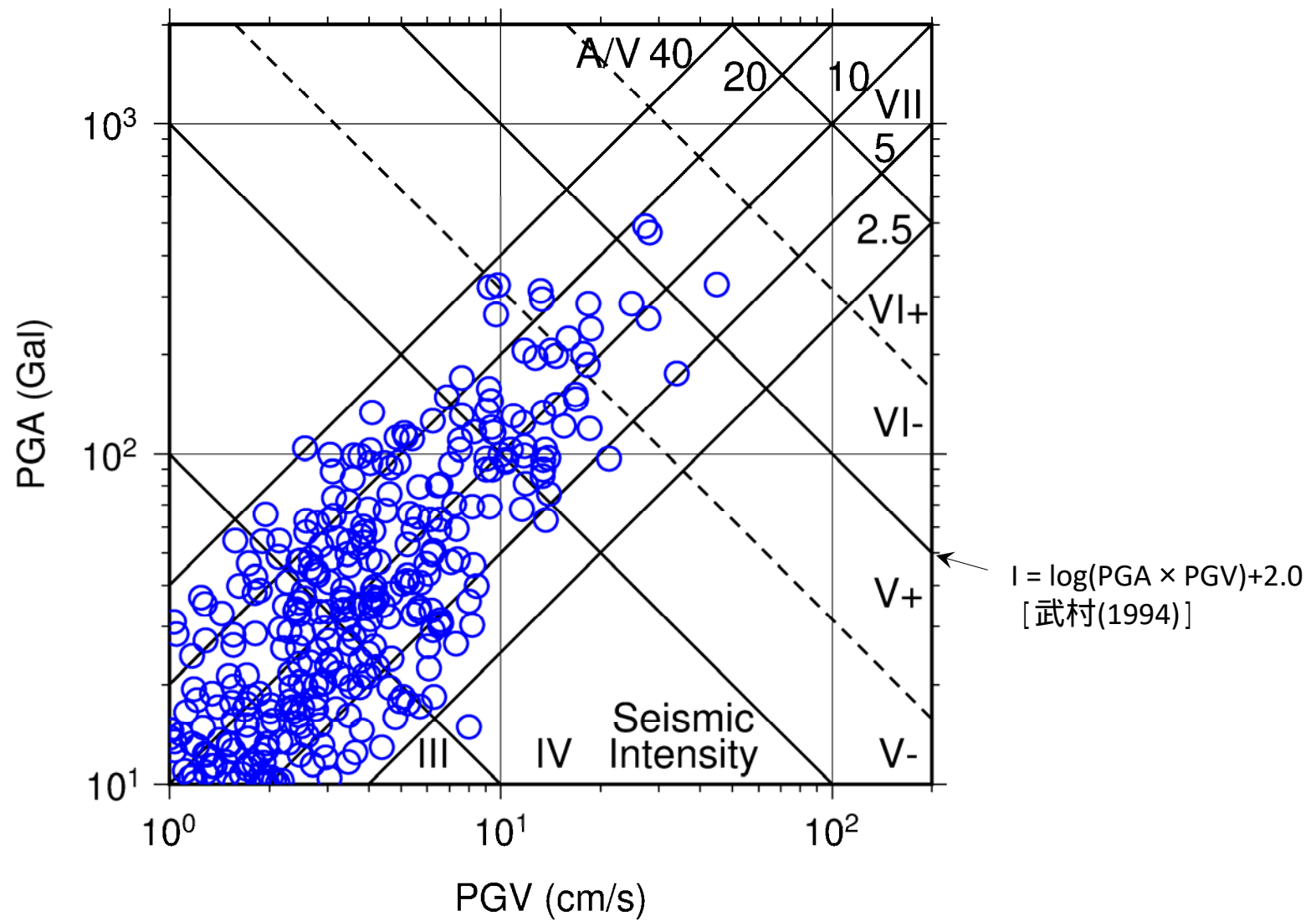
地表



地中

IWTH02 玉山(5.0)
震度5強

()内数値は地表の計測震度



PGAとPGVは、それぞれNSとEWの大きい方

青森県東方沖を震源とする地震による被害及び
消防機関等の対応状況（第7報）
（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和7年12月9日（火）6時00分
消防庁災害対策本部
※下線部は前回からの変更箇所

1 地震の概要（気象庁情報）

- (1) 発生日時 令和7年12月8日 23時15分頃
- (2) 最大震度
震度6強 青森県：八戸市
震度6弱 青森県：おいらせ町、階上町
- (3) 津波の状況
＜津波注意報＞ 令和7年12月8日 23時17分発表
北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 岩手県
＜津波警報＞ 令和7年12月8日 23時23分発表
北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 岩手県

2 被害の状況

(1) 人的被害・住家被害

都道府県	人的被害							住家被害					
	死者	うち 災害関連死者	行方 不明者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上 浸水	床下 浸水	一部 破損	合計
				重傷	軽傷	小計							
	人	人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟
北海道				1	2	3	3						
合計				1	2	3	3						

※上記のほか、消防機関等情報（調査中）
北海道において 7人の負傷者が発生（軽傷6人、不明 1人）
青森県において 20人の負傷者が発生（軽傷6人、不明 14人）

- (2) 火災の発生状況
青森市幸畑地区において、住宅火災が1件発生（鎮圧済）
- (3) 重要施設の被害
現時点で被害報告なし

- 今回の地震は、気象庁によれば**青森県東方沖の深さ50km**で発生した**M7.5**の西北西 - 東南東方向に圧縮軸を持つ**逆断層型**の地震
- **最大震度は気象庁では6強**を観測(青森県の八戸市(はちのへし))。北海道から近畿地方にかけて震度6弱 ~ 1を観測
- **長周期地震動階級3**を青森県三八上北で観測
- 気象庁は「**北海道・三陸沖後発地震注意情報**」を発表(12/9,2:00)
- 消防庁(12/9,6:00,第7報)によれば、北海道で7人、青森県で20人の負傷者が発生(調査中)

気象庁の地震情報、防災科学技術研究所のK-NET/KiK-netの強震記録を用いました。

また、最大加速度-最大速度-震度の関係の作図にはGMT(Generic Mapping Tools)ソフトウェア (Wessel and Smith, 1998)を使用しています。波形と応答スペクトルの作図には、国立研究開発法人建築研究所のソフトウェア ViewWaveを使用しています。

ここに記して謝意を表します。